

ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '87 11月号

11月の行事

11月

- | | | |
|------------------------|---|-----------------|
| 7 | 土 | 土曜観察会／古文書講読会 |
| 8 | 日 | 体験学習"紙すき" |
| 14 | 土 | 石仏を調べる会 |
| 14 | ～ | 15 天体観察会(七国荘) |
| 15 | 日 | 自然観察会(黒岩付近) |
| 21 | 土 | 土曜観察会／古文書講読会 |
| 27 | 金 | 星を見る会"月・木星とすばる" |
| 28 | 土 | 石仏を調べる会 |
| 29 | 日 | 相模川を歩く会 |
| 1～29：サマーセミナー展(寄贈品コーナー) | | |
| "：木星の仲間たち(プラネタリウム) | | |

12月

- | | | |
|---------------------|---|--------------------------|
| 5 | 土 | 古文書講読会／土曜観察会 |
| 12 | 土 | 石仏を調べる会 |
| 12 | ～ | 13 天体観察会"ふたご座流星の観測"(七国荘) |
| 13 | 日 | 相模川を歩く会 |
| 19 | 土 | 古文書講読会／土曜観察会 |
| 20 | 日 | 体験学習"おかざり作り" |
| 1～27：民俗部門展(寄贈品コーナー) | | |

●星を見る会

「月・木星とすばる星を見よう」

上弦前の月面や木星、そして大晦日に月によりえんべいされるすばる星(プレヤデス星団)を観察します。

日時 11月27日(金) 18～20時

場所 博物館科学教室・屋上

参加自由、科学教室集合。防寒の用意を。

●体験学習「おかざり作り」

ワラを使って正月のおかざりを作ります。一文カザリ、輪かざり、ゴボウジメ、玄関カザリを作ります。

日時: 12月20日(日) 10時～15時

場所: 博物館科学教室

申込み: 往復ハガキに住所・氏名を書いて申し込んでください。12月10日必着のこと。

定員: 30名(多數の場合は抽選)

ドームスクリーン補修工事のため
**プラネタリウムを
お休みします**

プラネタリウム室のドームスクリーンを補修工事するため、まことに勝手ながら、12月1日より年内いっぱい、プラネタリウム投影をお休みさせていただきます。

来年、1月7日(木)よりピカピカのドームスクリーン上に輝く星をお見せいたします。ご期待ください。

休演期間 12月1日～27日

サマーセミナー展

11月の寄贈品コーナーでは、夏休みの8月6～8日に開かれたサマーセミナーを紹介する展示を行います。壁新聞、班毎に作った研究発表、いろいろな写真などで、小中学生の大活躍のようすがわかります。

サマーセミナーとは

小学校5年生から中学3年生までを対象に、2泊3日で行う博物館のキャンプです。8回目の今年は、8月6～8日に平塚市土屋の七国荘を会場に行われました。たくさんの希望者の中から抽選で選ばれた31名の小中学生が参加し、オリエンテーリングやテーマ別の班活動に汗を流しました。

オリエンテーリング なるほどザ土屋

一日目の午後は、地図を見ながら土屋を歩くオリエンテーリングが行われました。愛宕神社、土屋靈園など、地図に示されたポイントを探しながら、それぞれの地点での問題を解いていきます。大きな木が生えているわけを考えたり、階段の数を数えたり、石仏をスケッチしたり、みんな大忙しです。おまけにすごい夕立ちが降ってきて、遅れてびしょぬれになった班もありました。

テーマ別研究

二日目はテーマ別に四つの班に分かれて活動しました。

生物班「川の汚れと生物」：座禅川の上流8ヶ所でカワニナの数を調べ、いない所では水の汚れの原因を推理。

民俗班「石仏を調べる」：矢沢の部落を中心にして見られる石仏や石塔を調べ、カードを作る。ボラロイドカメラで撮影も。

歴史班「水の利用と地形」：いくつかの谷戸田を見て回り、水の引き方、田んぼの配置などを調べる。

考古班「遺跡を調べる」：遠藤原の台地の畑で土器のかけらを拾い、洗って時代別に整理。

発表そして家へ

三日目には、班別に調べたことを模造紙にまとめ、発表会を行いました。4班、いずれも工夫し

た力作ぞろい。

そして、いろいろな思い出を持って、バスで駅へもどりました。
(浜口)

みんなの感想

ぼくは、はじめてサマーセミナーへ行った。さいしょは、みんなしらない人しかいなかつたのでふあんだったけど、カリキュラムⅠのオリエンテーリングをやったとき、ふあんがなくなつた。二日目カリキュラムⅡで生物はんだつたぼくは、足のおやゆびにけがをしていたのできをつけてやりました。田んぼの中にタイコウチやミズカマキリがいてつかまえたかつたけどがしてやりました。

(大原小5年 中川 元)

今年のサマーセミナーは2回目だったので、昨年より気楽に行けました。二日目の土屋を調べるでは、私は考古班でした。考古班では女の子が私だけだったので、はじめはいやでしたが、男の子たちがやさしかったのですぐになれました。私は縄文時代の土器をたくさんみつけました。そして、その時代の大きな特徴もわかりました。サマーセミナーに参加して、いろいろな事を学びました。

(八幡小6年 添田 亜紀)

もう教わる立場としてサマーセミナーに行く事もないんだなと思うとちょっぴりさびしいです。オリエンテーリングではもう少しポイントを減らして、じっくりゆっくり回れるようにした方がよいのではと考えさせられました。それから来年はぜひ行けたらボランティアとして行きたいと思っています。最後に5回連続行けてとてもうれしくて感激しました。来年またもし行くことになったらよろしくお願ひします。

(中原中3年 滝口 史子)

8月7日セミナーしんぶん

てんき しのまつ 記録係

ひる 梶さん 編集長
くわせ 松本誠司君 おはな
かみ 知た
くわせ おおきい
くわせ うき見
くわせ なんとそれ
くわせ おひなさん
くわせ おひなさん
くわせ おひなさん

深井 美樹
糸井 鮎子
山口潤

みんなの 顔の5倍もある葉っぱ
キリの葉っぱ
赤ちゃんの大きさ一番大きい。

ハビ発見

8月7日、カリキュラムⅡの歴史班にはいじょうじたいが走りますはじめに去る561の時セミナーの生物班で起きた殺事件の同じ場所で人間がおこった。そのあとほとんどの中でハビが発見その後歴史班は小るえてへんしゃ～～後ま

写真でIV

このかいは、みた
いどもきいたか？さ
とさや、やじらけ
きはくにいがた
おひや、おなじ
めがく、みか
べじふくわく

カリキュラムⅡ
・発へいくはず
だったのに発



地図-3 カワニナの大きさと数

計 165匹

1cm～
1.4cm 3匹

1.5cm～

2cm

34匹

2.1cm～
2.4cm

42匹

2.5cm～
2.8cm

71匹

2.9cm～
3.2cm

サカマキガハ カワニナ

3.3cm～
3.6cm

14匹



3.7cm～
4cm

11匹

ワニナとは.....

いいな所だけに住む生物で、人間にとて大切な指標生物である。

- きれいな川に住む生物は体の表面がすきとおっている物が多い。



職人の道具

二階展示コーナー№24

このコーナーでは、船大工、車大工、桶造り、家具造りに用いられた道具類を展示しています。これら四つの職種は、いずれも木を材料として製品を造っていますが、使われている道具類を見るとそれぞれの職種に特色があります。

船大工 海や川で使う船を造る職人のことで、昭和初期には、平塚の旧須賀村に30人もの船大工がいたといわれています。しかし、現在はFRPやプラスチックの船が多くなり、木造船を造る船大工は衰退の一途をたどっているのが現実です。

船大工の道具には、ツバノミ、チョウナ、ヨキ、カガリ、マワシビキ、スリアワセなどのノコギリ類、各種カンナ、クギシメなどの道具があります。普段見なれない道具があると思いますが、このなかではツバノミに特色があります。ツバノミは、板を船クギでつなぎ合わせるためにクギ穴をつける道具です。船を造る材料には、多く杉が使われています。この木は脂分があって船には適しているのですが、裂けやすく、幅広の船クギを打つ前にツバノミでクギ穴をあけるわけです。



車大工 荷車や牛車、馬力などを造る職人を車大工といいます。荷車・牛車・馬力は、自動車が普及するまでは重要な運搬具で、平塚にも数人の車大工がありました。

荷車などはカシの木が多く使われています。カシの木といふのは、材質が硬く、普通の道具では扱えません。車大工道具のノコギリやチョウナは、他の職種のものと柄の付け方が違っているのはそのためです。また、車輪や車軸には鉄を使うため、車大工はフイゴなど鍛冶屋の道具も必要で、毎年11月8日にはフイゴ祭りも行われました。

桶造り プラスチック製品が大量生産される以前は、木製の桶樽類は日常生活に欠かせないものでした。オハチ、水桶、タライ、風呂桶などさまざまなものがあり、どこのムラにも1、2軒の桶屋が必ずあったものです。

桶・樽類は、サワラやヒノキなど木目の通った材料が使われます。きっちりとした円形をだしたり、木と木をぴったりつないで水もれがないようにするのが大事なことで、シキマワシ、ブンマワシ、正直台などが特色ある道具といえます。



家具造り 展示してある道具は、椅子や戸棚など洋家具造りの道具です。展示からは、四職種のなかで、もっと多くの道具が必要だったのがわかります。細かな細工と入念な仕上げが要求される仕事で、ノミ類、カンナ類、定規類には多くの種類が見られ、しかも手作りの道具が多くあるのが特色です。洋家具造りといつても、この職種は指物師の流れをくむのがわかると思います。(小川)

Vol. 12 No. 8 通巻 13 号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ○3500
「はくぶつかん」

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111